

「知的障害のある児童生徒の質の高い学びを実現するための、
ICTを活用した主体的・対話的な授業実践」
～タブレットなどICTを活用した授業づくりと
ICT活用実践集のシラバスへの位置づけ～

千葉県立我孫子特別支援学校

電話 04-7187-0831

FAX 04-7188-2626



研究のポイント

ICTを活用し知的障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業実践を行う。特に公開授業研究会ではiPadを活用し、「プログラミング学習」の視点を取り入れた授業を行う。また、実践をまとめた「ICT活用実践集」を前期・後期と2回作成、実践を蓄積する。シラバスとリンクさせて有効的な活用方法と検証を行う。

■学校の概要 <https://www.chiba-c.ed.jp/abiko-sh/>

本校は昭和53年度に開校した、知的障害のある子どもたちのための県立特別支援学校で、学区は「①我孫子市②白井市③印西市の一部④柏市の一部」の4市にまたがっている。

開校から平成21年度までは、小学部、中学部、高等部を置いていたが、平成22年度に高等部普通科職業コースとして県立沼南高柳高校の中に清新分校を設置、平成26年度に湖北特別支援学校設置により高等部が移転し、本校に小学部と中学部を置き、高等部を清新分校に置く県内でも特色ある設置形態となった。

「豊かな心と健やかな体、確かな学力をもった、自立と社会参加できる児童生徒の育成」を教育目標とし、「みんなで育む優しい心の故郷 チーム我孫子」を今年度の学校のミッションとして、グラウンドデザインを策定している。

■研究課題

知的障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指す為にICTを活用した授業実践を検証する。「ICT活用実践集」として指導実践事例等を収集・整理しながら、効果的なICTの活用方法や授業実践の在り方について研究を行う。

■研究の目的と方法

【目的】

知的障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指すために、ICTを活用した効果的な授業実践と改善に取り組むとともに、ICTの効果的な活用事例を整理する。

【方法】

- ・全校職員でICTを活用した授業実践、環境整備を深めていく。
- ・公開研究会では特にiPadを活用した実践を焦点にし、知的特別支援学校における「プログラミング学習」の視点を取り入れた授業を行う。
- ・講師を招聘してICT活用に関する全校研究会や公開研究会を行う。
- ・全校職員の指導実践事例を前期、後期2回作成して「ICT活用実践集」に追加する。

■ 研究概要

【実践について】

- ・教科・領域において ICT 活用実践を深め、蓄積していった。
- ・今年度の研究に向けて iPad や Web カメラなど ICT 機器と利用環境の整備を進めた。
- ・講師を招聘して ICT 活用に関する全校研究会や公開研究会を行った。(オンライン)
- ・公開研究会ではiPadを活用した実践を焦点にし、知的特別支援学校における「プログラミング学習」の視点を取り入れた授業を行った。
- ・ICT活用実践集を前期と後期の2回改訂。
- ・ICT活用実践集はあびとくシラバスとリンクさせた。

【成果】

- 知的障害特別支援学校における ICT の効果的活用実践の蓄積
 - ・各教科等の目標を達成する上で、多くの教職員が様々な指導形態において効果的かつ積極的に ICT 機器を活用するようになった。
- 知的障害特別支援学校におけるプログラミング学習について
 - ・プログラミング的思考を、物事を順序立てて考え、成功に導けるかをイメージできる力と捉えた。
 - ・プログラミング学習を、アプリの作成やプログラミングの学習に留まらず、より広義に、プログラミング的思考を取り入れ、思考過程を大切にすることで、各教科・領域の目標を達成するための学習と押さえた。
- オンライン授業やオンライン研修の積極的実施の効果
 - ・学校として ICT の活用実績を蓄積するとともに、iPad 貸し出し体制、各学級への Web カメラの配置、校内インフラなどの環境づくりを促進できた。
 - ・一人一人の教員の iPad、Web カメラなど ICT 活用のスキルアップができた。
- ICT 活用実践集の追加と編集
 - ・学習指導案に ICT 活用の欄を設けたことで、職員の ICT 活用への意識を高めることや、活用事例を増やすことができた。実践集に「使い方」「効果」等を記載することで、どのような場面でどのような ICT を使うと効果的かを記録に残すことができた。

【課題】

- ICT 活用実践授業
 - ・ギガスクール構想に基づき一人一台のタブレット配付体制が整備されたときに、本校での講師の指導、授業改善、ICT 活用実践集等により効果的に活用し、主体的、対話的学びを更に推進していくこと。
- 「プログラミング的思考」を取り入れた学習の推進
 - ・更に実践を増やし、蓄積する。
- ICT 活用実践集
 - ・より見やすく、検索しやすいレイアウト等の編集や活用しやすい編集方法の検討。

関連資料

- ・特別支援学校小学部・中学部学習指導要領
- ・特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)
- ・視覚支援のカード・教材100 学研 青木高光・杉浦徹・竹内奏子 著
- ・知的・発達障害のある子のプログラミング教育実践 ジアース教育新社 金森克浩監修
- ・特別支援 iPad 活用法 青木高光 監修 内田義人 著

【講評】

県立我孫子特別支援学校の実践について

昨年度より知的障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指し、効果的なICT機器の活用方法や授業実践の在り方について研究を進めていただきました。

ICT機器をどのような場面でどのように使うと効果的であるかについて、事例を通しての発表がありました。また、ICT機器を活用した授業作りへとつながる実践事例集やシラバスにより、ICT機器活用の場面と意図が一目で分かる取組として照会がありました。

今後もICT機器活用の実践事例をさらに集め、成功体験を積み重ねつつ、学習指導要領でも位置づけられているプログラミング的思考を育むICT機器活用の実践についても推進が図られることを期待しています。